

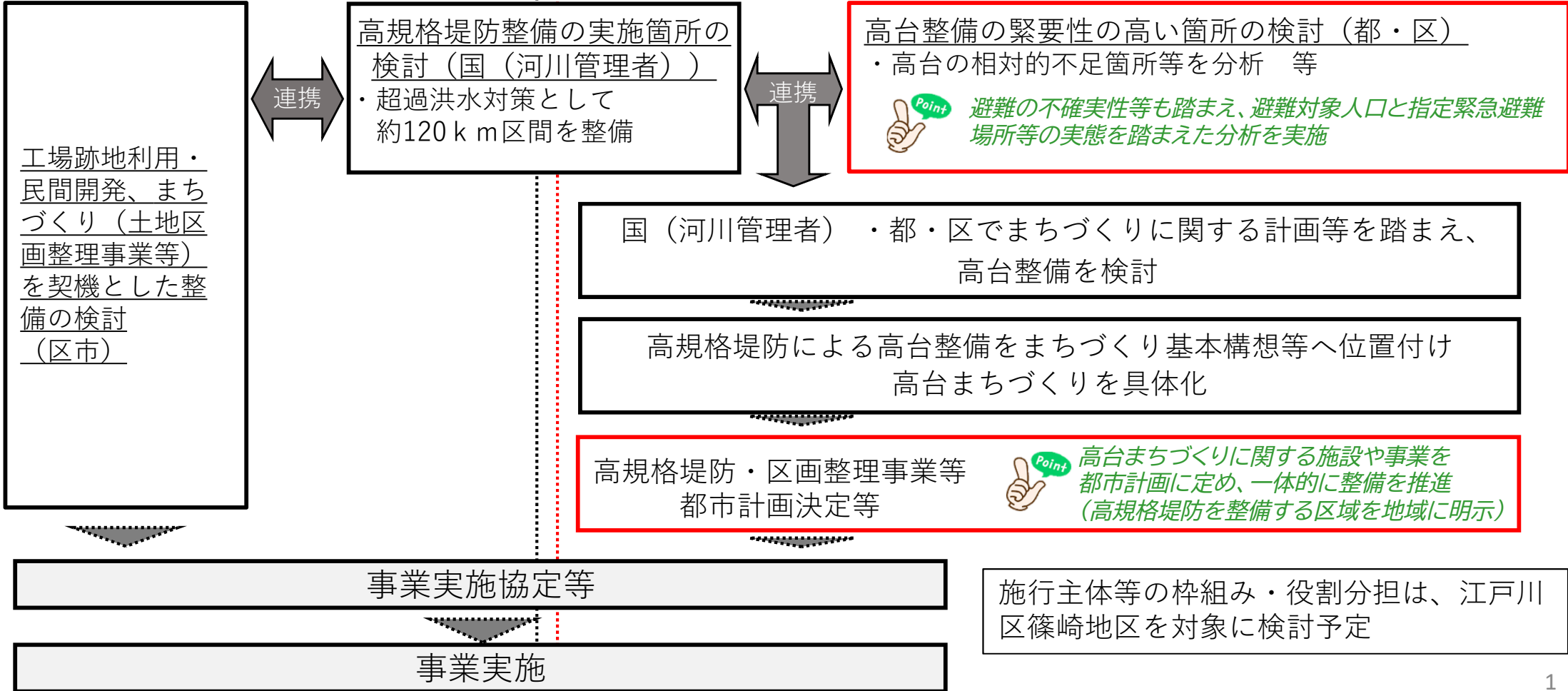
- ・現在、東京東部地域を流れる荒川や江戸川等の沿川では、まちづくり等を契機とした連携により高規格堤防整備を実施。
- ・大規模水害時の住民等の緊急的な避難場所の確保が求められる中、「災害に強い首都「東京」形成ビジョン」で示された“高規格堤防の上面を活用した高台まちづくり”をより一層効果的に推進することが必要。
- ・このため、従前のまちづくり等を契機とした進め方に加え、高台整備の緊要性も踏まえた新たな仕組みを構築していく。
- ・また、住民の合意形成の促進の観点等から事業の着実な推進に効果的であったモデル地区における事例を踏まえ、高規格堤防整備による高台まちづくりへの都市計画制度の活用について検討し、水平展開を図る。

【例】都市計画制度を用いた高台まちづくりのイメージ（高規格堤防の事例）

：新たな仕組み

【従前の仕組み】

【新たな仕組み（案）】



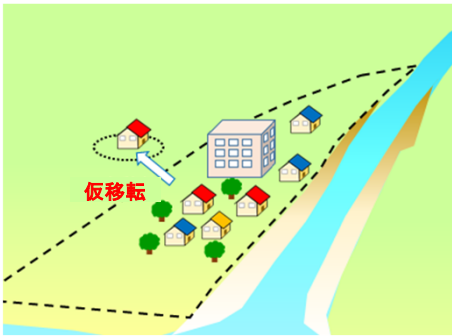
# 高台まちづくり（高規格堤防整備）の円滑な推進

高台まちづくり（高規格堤防整備）の円滑な推進を図るため、土地区画整理事業など関連事業による先行確保用地等を活用した事業展開など、住民の負担軽減や事業のスピードアップ等に寄与する直接移転が可能となる仕組みについて、検討を進めていきます。

## 【現状の課題】

二度の移転に伴う大きな住民負担、事業期間の長期化等

### ① 高上げのため仮移転



### ② 本移転（二度移転）

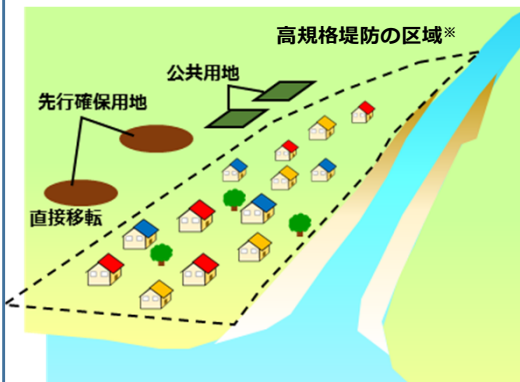


住民の負担軽減を図ることで  
高規格堤防整備を着実に推進

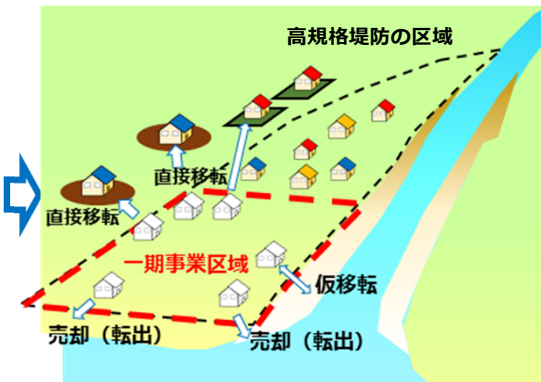
## 【事業の着実な推進(関連事業による先行確保用地等を活用した事業展開)】

直接移転・売却等の複数の選択による円滑な合意形成や、事業のスピードアップ等に寄与する連鎖的に直接移転が可能な仕組み

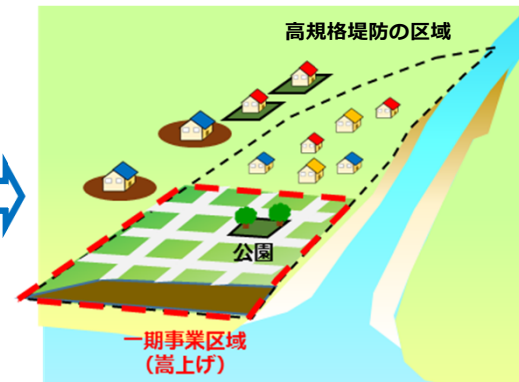
### ① 種地となる用地を確保



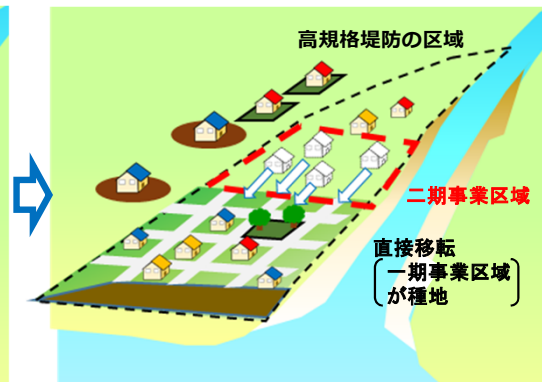
### ② 直接移転等により二度移転と比べコスト・事業期間が縮減



### ③ 一期事業区域の高上げ上面整備



### ④ 二期事業の着手(以降、連鎖的に展開)



※土地区画整理事業と高規格堤防を一体的に整備する区域（都市計画決定など）

# 【参考】新たな仕組みを活用した高台まちづくりの検討（江戸川区篠崎地区）

- 江戸川区篠崎地区は、大規模水害時の避難場所が不足するとともに、区外（千葉県側）への広域避難を実施する場合の避難経路も限定的。
- このため、緊急的な避難場所等にもなる高台まちづくりについて、都市計画制度等を用いた新たな仕組みや、事業のスピードアップ等に寄与する直接移転が可能な仕組みも活用し、関連事業が一体となり、具体化に向けて検討を推進。また、補助286号線（都県橋含む）の早期整備に向けた取組も推進し避難対策を強化。

**A** 都県橋整備を含む高台まちづくりエリア

**B** 「篠崎公園地区」高台まちづくり（事業中）

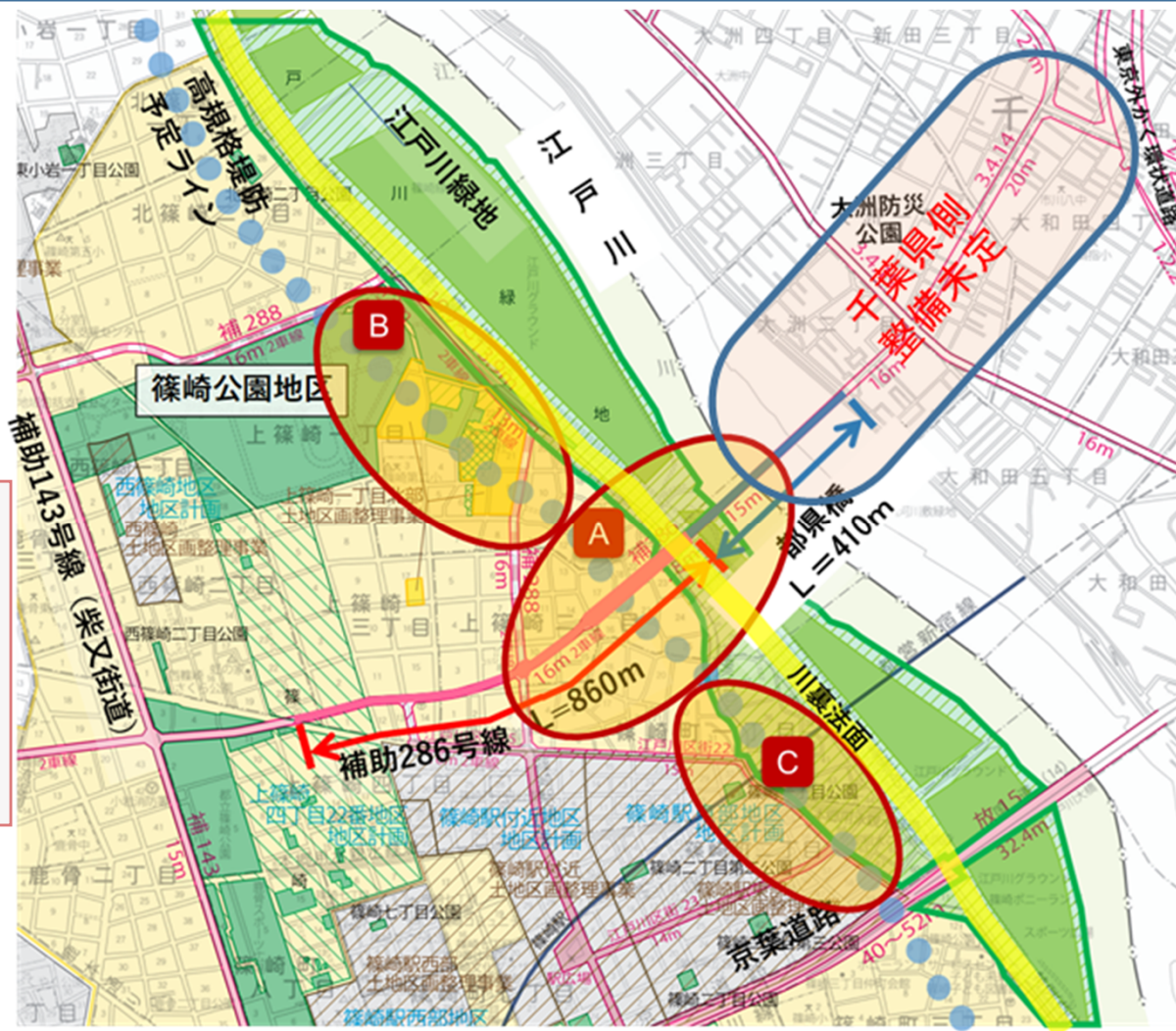
**C** 都市計画緑地と土地区画整理事業を施行すべき区域の重複 →東京都と調整中

**A B C** に含まれる事業

- ・ 高規格堤防事業（国）
- ・ 都県橋整備（都・千葉県）
- ・ 江戸川緑地（都・区）
- ・ 都市計画道路（区）
- ・ 土地区画整理事業を施工すべき区域（都・区）

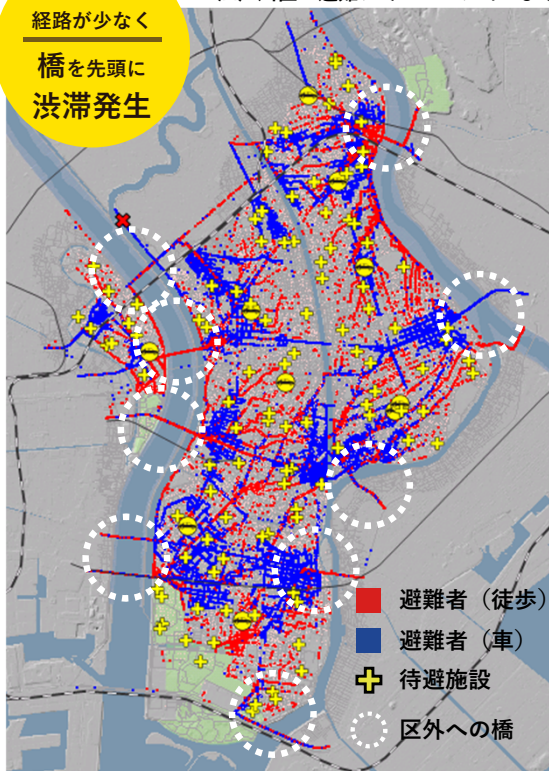
凡例

- 高規格堤防予定ライン
- 土地区画整理事業を施行すべき区域
- 緑地



江戸川区から千葉方面への広域避難の経路（徒歩・車）は市川橋と今井橋のみ

江戸川区の避難シミュレーションより



出典：江戸川区ハザードマップ（水害（洪水・高潮））を加工 3